

《担当者名》 松尾淳司、幸村近、田中真樹、遠藤輝夫、吉田繁、丸川活司、坊垣暁之、小野誠司、近藤啓、江本美穂、高橋祐輔、高橋祐司、山崎智弘、沖野久美子、藏満保宏、白鳥亜矢子、鈴木喜一

【概要】

1 - 4年生で学んだ知識および技術を基盤として、臨床検査学に関する基礎、臨床、応用的な研究に取り組む。医学研究における臨床検査の位置づけを理解し、研究に取り組む姿勢、研究目的を達成するための実験計画の作製、研究データの解釈と処理方法、研究成果の発表方法（学会発表、論文作成）を学び、プレゼンテーションおよびディスカッションから研究の意義と問題点について考察する力を養う。本セミナーでは1) 学術論文の検索方法、2) 学術論文抄読、3) 実験計画書作成、4) 調査・研究、5) 実験ゼミ、6) 発表スライド作製・発表を行い研究方法について学習する。学科の全教員が担当する。

【ディプロマポリシーとの関連性】

(DP1) 生命の尊重を基盤とした豊かな人間性、幅広い教養、高い倫理観を身につけている。

(DP2) 臨床検査に必要な知識と技術を習得し、先進・高度化する医療に対応できる実践能力を身につけている。

(DP3) 保健・医療・福祉の各分野の役割を理解し、チーム医療の一員としての自覚とそれを実践するための専門性と協調性を身につけている。

(DP4) 臨床検査のスペシャリストとして、進歩や変化に常に興味を持ち、生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけている。

(DP6) 臨床検査学領域における様々な問題や研究課題に対し、解決に向けた情報の適切な分析、科学的思考と的確な判断ができる能力を身につけている。